



図書館だより

2022年
5月2日発行

秋草学園高等学校 図書館

ゴールデンウィークの前半は充実した時間を過ごせましたか。明日からは後半の三連休が始まりますが、きっと新学期の疲れが溜まってきている頃だと思しますので、しっかりと休息もとりながら連休を楽しんでください。今回の図書館だよりでは連休のお供におすすめしたい本の紹介をしていきます。館内では春のドラマや映画の原作を集めて展示も行っています。図書館内の展示もこまめに変えて、みなさんが「旬」の本を手に取りやすいようにしたいと思しますので、「今日はちょっと時間があるな」という日には図書館に足を運んでもらえると嬉しいです。

5月公開の映画の原作を読んでみよう

●2020年本屋大賞作品が待望の映画化！

913.6-ナ 『流浪の月』

凧良 ゆう || 著 東京創元社



女兒誘拐事件の被害者と加害者。更紗（さらさ）と文（ふみ）は世間からそう捉えられ、報じられた。しかし、更紗にとって文は自分を救ってくれた存在だった。世間の認識と自分の内にある思いのズレに窒息しそうなまま大人になった更紗はある日偶然、文と再会する。

更紗と文にしかわからない思いと、それに反する世間の声、その両方を受け取りながらみなさんはこの物語にどんな感情を抱くのでしょうか。

- 凧良ゆうさんの本をもっと読みたい人には
913.6-ナ 『滅びの前のジャングリラ』もおすすめ！
- 本屋大賞に選ばれた本をもっと読みたい人には
913.6-マ 『52ヘルツのクジラたち』もおすすめ！

●直木賞作家・辻村深月がアニメ業界の舞台裏を描く！

913.6-ツ 『ハケンアニメ！』

辻村 深月 || 著 マガジンハウス

プロデューサー、監督、アニメーターを主人公にアニメの制作現場を臨場感いっぱい描いた作品。アニメを愛する登場人物たちの熱気は「こんな風にアニメは作られているのか！」とアニメに興味がない人の心も揺さぶってきます。

新作アニメが完成するまでに起こる数々のドラマ。怒って、泣いて、絶望して、それでもがむしゃらに頑張る主人公たちが笑顔になる瞬間に胸がジーンときます。

- 辻村深月さんの本をもっと読みたい人には
913.6-ツ 『家族シアター』もおすすめ！
- 仕事現場を舞台にした本をもっと読みたい人には
913.6-ア 『書店ガール』もおすすめ！

家にいながら世界を旅する気分

596-ツ 『知っとこ！世界の朝ごはん』

知っとこ！制作スタッフ || 著 宝島社



みなさんはどんな朝ごはんを1日をスタートしているでしょうか。この本では世界の様々な都市での朝ごはんを、「地元の味」を再現したレシピが紹介されています。その国ならではの特色ある朝ごはんを知るだけでなく、レシピを参考に朝ごはんの味も楽しんでください。

689-ア 『一生に一度は泊まりたい絶景ホテル』

朝日カメラ編集部 || 編 朝日新聞出版



「どんな所に泊まるか」も旅の楽しみのひとつ。

海中に泊まれたり、洞窟をリノベーションして作られていたり、全面ガラスの部屋からオーロラの輝く夜空が楽しめたり、と世界には想像を超える魅力を持った数々のホテルがあります。眺めているだけでわくわくします。

新着コーナーの気になる本

538-リ 『さばの缶づめ、宇宙へいく』

小坂 康之 / 林 公代 || 著 イースト・プレス

高校生の作ったさば缶が宇宙へ飛び立った！？

「宇宙食、作れるんちゃう？」そんな一言から始まった宇宙食プロジェクト。先輩から後輩へと何代も引き継がれながら、このとてつもなく大きな夢に少しずつ近づいていった高校生と先生の熱い挑戦の物語。

B913.6-ト 『大事なことほど小声でささやく』

森沢 明夫 || 著 幻冬舎

個性的な顔ぶれが集うスポーツクラブ SAB。その中で1番目立つのが2m越えの身長とムキムキの体を持つオネエのゴンママだ。見た目はいかついけれど誰よりも優しく温かいゴンママはいつも仲間たちの相談役だったが、実はゴンママ自身も悩みを抱えていて…。

司書の今月はこの本読みました

テンポのよさと独特の世界観でいつも読者を楽しませてくれる伊坂幸太郎さん。今回読んだ913.6-イ 『ペーパーズ・ゴースト』 朝日新聞出版の主人公は中学校教師 壇（だん）先生。彼には人の未来が〈先行上映〉のように見えてしまう能力があるのですが、得するどころかつらい思いをしてばかり。ある時〈先行上映〉で見た生徒の未来をきっかけに危機的状況に巻き込まれていきます。爆弾テロを企てる集団に拉致されたり、存在するはずのない謎の二人組が目の前に現れたり、息をつく間もない怒涛の展開に惹き込まれ一気に読みました。【今井】